

鹿児島県産品の輸出拡大と物流スキーム構築

協議会名: 日本産品の輸出拡大推進協議会

協議会構成員

日本航空株式会社、株式会社三越伊勢丹ホールディングス、鹿児島県

【事業実施背景】日本航空は貨物輸送ビジネスの拡大に取り組むと同時に社会インフラとして地域社会の発展に貢献することを目指しているが、高鮮度かつ低コストの物流システムの構築に課題を抱えている。そこで日本有数の産品を有する鹿児島県や海外に実店舗を有する三越伊勢丹ホールディングスとともに中長期的な県産品の輸出拡大に向けて、海外マーケット及び地域物流の調査・分析を行い、今後の輸出拡大に資する航空輸送を活用した効率的な物流網(コールドチェーン※1等)の構築に取り組む。

事業内容

Point



海外マーケットの実態やニーズを起点に、協議会構成員のナレッジを結集させ、産品選定、プロモーション、販売手法、輸送サービス等を構築し、ワンショットではなく、定常的な輸出サービスの確立とそれを支える物流スキームの構築を目指す



想定事業実施効果

- 海外マーケットと現状の地域物流の調査・分析等を通じて、顧客ニーズや競合動向等を明らかにし、高付加価値産品など強化すべき産品を特定
- 加えて、県内物流の効率化および国内主要空港を経由した海外航空輸送におけるコールドチェーンの構築など、当該産品の定常的な輸出に資する国内外の物流網を検討
- 今後の県産品の定常的な輸出促進に向けて、事業コンセプトを明らかにする
- その結果、県産品の輸出に向けて、現状と比較して、地域物流における配送効率を向上させ、かつ、全体としてのリードタイムが短く、高鮮度のまま輸出することが可能な航空輸送を活用した国内外の物流網を構築することを目指す

※1 食品、医薬品、化学品など、温度管理が必須な商品を、生産から加工、輸送、販売、消費に至るまで、一連の工程で低温（冷蔵・冷凍）状態に保ち続ける物流システムのこと。